



タロット展開法

第1回

第2クール タロットコーチング講座

占術としてのタロット

タロットは物事を象徴的に表し、潜在意識と繋がって解釈することで、本当の自分との対話を可能にしてくれる道具です。意識は瞬間的に変わっていきますので、長期的な見通しには向いていません。ですから、タロットでは生涯を通した運勢を占うことはできません。プロになるには、クライアントからの様々なニーズに応えるために、生年月日から鑑定結果を出す占術、例えば占星術なども学習します。しかしタロットは「今」という瞬間にアクセスして自分の潜在意識と対話する最良の訓練になります。

タロット占術の軸という考え方

- ① 一枚引き→二枚（主観軸→客観軸）
- ② 二枚引き→三枚（対立軸→中庸軸）
- ③ 三枚引き→四枚（時間軸→意識軸）
- ④ 四枚引き→五枚（世界軸→中心軸）
- ⑤ 五枚引き→六枚（五次元軸→六次元軸）

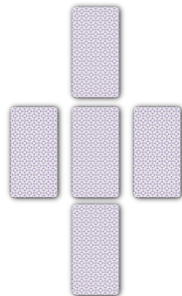
※1：視線はカードを深く読みたいときに引きます。

※2：逆位置の場合に解決カードを引くという考え方はしません。

※3：五枚引きカード以上になると超意識領域になりますので、④までを基本とします。

タロットの展開法（共通）

- ① 現象界曼荼羅を作成する。
- ② 愚者を手に持ち、愚者(0番)が上になるように世界(21番)まで重ね、束ねたカードを裏向きにして中央におく。
- ③ 相談者がそのカードに手を置き、相談内容を意図する。
- ④ 左手（右脳にアクセス）で、そのカードを適当に十字に分ける。



- ⑤ 十字に展開されたカードを両手でシャッフルする。
- ⑥ 適度にシャッフルしたところで、手を止め、そこからカードを一枚ずつ引いていく。

具体的展開法

一枚引き→二枚（主観軸→客観軸）

頭で考えるとどうしても主観的になりがちとなり、個人的な経験や知識から積み上げた偏った考え方に陥る可能性が高くなります。世の中には様々な視点、可能性があります。二枚引きは発想の転換を行うには最良の展開法と言えます。

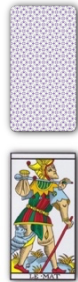
- (1) シャッフルしたカードの中から裏向きのまま一枚だけ引く。



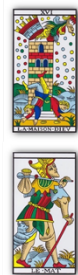
- (2) 引いた一枚をリーディングする。



- (3) もう一枚引いて、先ほど引いたカードの上に置く。



- (4) 上のカードを表向きにして、リーディングしたカードから別の視点を引き出す。



タロット占術は、行き詰まっている現在の考え方からより良い方向へ意図を差し向けることにあります。頭で思考していることのほとんどは世間的価値観、他人との比較、個人的幸不幸の判断など、実際には意味のないことです。しかしそれが間違っているというわけではありません。より深い意識と繋がって現実的力としていくことが私たちの本来の思考のあり方と言えます。タロットはその作業をより簡単に、一瞬で明確にしてくれる優れた道具です。